

霧降高原 キスゲ平の

花



ヒメイチゲ (4~5月)
雪どけとともに咲く小さな花



カタクリ (4~5月)
早春に大群落になって咲く



アカヤシオ (5月)
葉が出る前に花が咲きよく目立つ



オオカメノキ (5月)
葉がカメの甲のような形をしている



ハクサンイチゲ (5~6月)
現在、栃木県では霧降高原だけで見られる



シロヤシオ (5~6月)
別名ゴヨウツツジ、皇族の愛子様お印



トウゴクミツバツツジ (5~6月)
3枚の葉をつけるツツジの仲間



オノエラン (6月)
個体数は少ないので見られれば好運



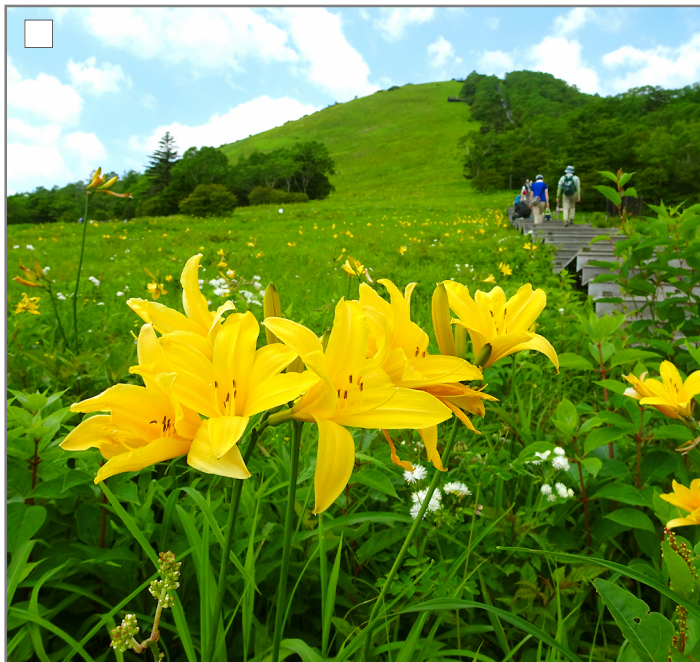
ハルナユキザサ (6月)
ユキザサより大型で群生することが多い



レンゲツツジ (6月)
ツツジの仲間では花が最も大きい



オノエラン (6月)
個体数は少ないので見られれば好運



ニッコウキスゲ

(6~7月)

日光の名前が付き、キスゲ平を代表する花で全体が黄色いじゅうたんのようになる



サラサドウダン

(6月)

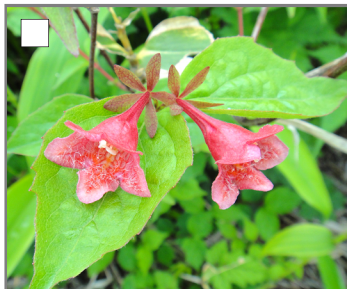
さらしなぞ もよう
花に更紗染めのような模様がある



ベニサラサドウダン

(6月)

サラサドウダンより花は赤く小さい



ベニバナノツクバネウツギ

(6月)

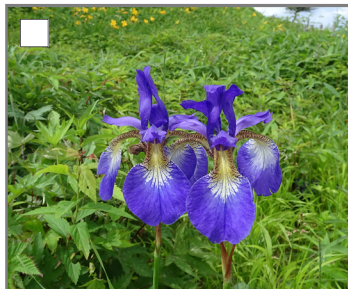
べん かじつ
5枚のがく片をつけた果実がツクバナに似る



オオナルコユリ

(6~7月)

つっじょう た
葉のつけ根から筒状の花が垂れ下がる



アヤメ

(6~7月)

花びらにあみ目もようがある



チダケサシ

(6~7月)

きのこのチダケを刺して持ち帰った



カラマツソウ

(6~7月)

花がカラマツの葉に似ている



クルマユリ

(6~7月)

りんせい しやりん
輪生した葉を車の車輪にたとえた



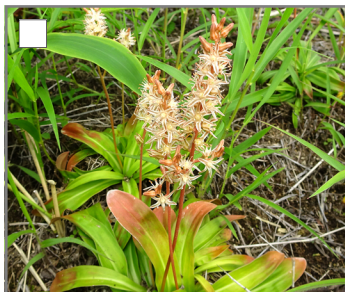
ヤグルマソウ (6~7月)

葉の形がこいのぼりの矢車に似ている



ネバリノギラン (6~7月)

はなほ
花穂をさわるとねばり、花はあまり開かない



ノギラン (7月)

花穂はねばらず、花は全開する



ノハナショウブ (7月)

花びらにあまり目もようがない



オオバギボウシ (7月)

大型で白~青紫色の花をつける



コバギボウシ (7月)

小型で青紫色の花をつける



ハナチダケサシ (7月)

こうか
チダケサシに似るが花はより豪華



オトギリソウ (7月)

歩道そいに見られ薬草として用いられる



シモツケ (7月)

下野の国(栃木県)で発見された低木



ヤマブキショウマ (7月)

葉がヤマブキの葉に似ている



ヨツバヒヨドリ (7~8月)

葉が4枚輪生しアサギマダラが集まる



ハコネギク (7~8月)

ノコンギクより花期が早く、総苞がねばる



シュロソウ (7~8月)

アオヤギソウの変種で花は濃い茶色



アオヤギソウ (7~8月)

茎の先に黄緑色の花を多数つける



コメツツジ (7~8月)

白い小さな花をつけるツツジの仲間



ホツツジ (7~8月)

ピンク色の花を穂状に咲かせるツツジの仲間



アカバナシモツケ

シモツケソウに良く似るが、果実に毛がある変種となっている

(7~8月)



ソバナ (7~8月)

葉は互生し鐘形の花を多数つける



ヒメシャジン (7~8月)

全体に小型で鐘形の花をつける



イタドリ (7~8月)
ソバに似た花をつける



クガイソウ (7~8月)
輪生する葉が何段にも重なり、クガイは9階の意味



ノハラアザミ (7~9月)
花期が長く秋まで花が見られる



オヤマリンドウ (8月)
茎の先に数個の花をつける



ミヤマセンキュウ (8月)
茎の先にレースのように小花を多数つける



ワレモコウ (8月)
花に見えないユニークな形



ヤマハハコ (8月)
茎の先にドライフラワーのような花をつける



タムラソウ (8月)
花はアザミに似るが葉にはトゲがない



キオン (8月)
おおがた
大型の草で黄色い花を多数つける



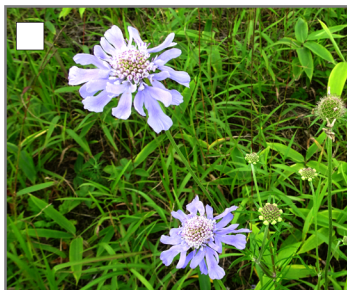
ノリウツギ (8月)

むかし かわ わし
昔は木の皮から和紙をつくるノリを作った



ツリガネニンジン (8~9月)

りんせい くき かねがた
葉は輪生し茎の先に鐘形の花を多数つける



マツムシソウ (8~9月)

まつむし な じき
松虫が鳴く時期に花をつける



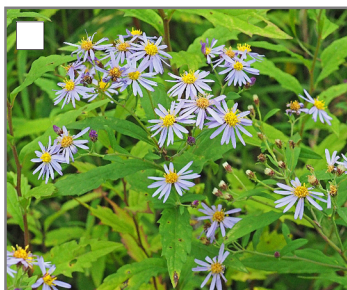
アキノキリンソウ (8~9月)

秋の草原に黄色の花がよく目立つ



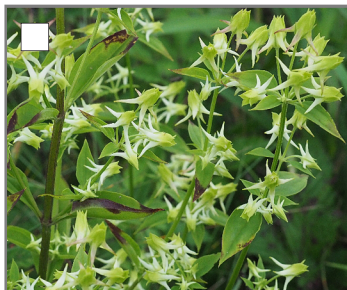
ゴマナ (8~9月)

白色の小花を多数つける



ノコンギク (8~9月)

くき あおむらさきいろ ぐんせい
茎の先に青紫色の花をつけ群生する



ハナイカリ (8~9月)

花が船の錨のような形をしている



テンニンソウ (8~9月)

ぐんらく てんちゆう
群落をつくって咲き、昆虫が多く集まる



サラシナショウマ (8~9月)

茎の先に花を多数つけブラシのように見える



ウメバチソウ (8~9月)

かもん うめばちもん
花を家紋の梅鉢紋に見たてた



リンドウ (9~10月)

茎の先と葉のつけ根に青紫色の花をつける



オヤマボクチ (9~10月)

大型の草で特徴ある花をつける